広報まき

1972年10月14日
第 157 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和47年9月30日現在）
総人口　27,528人
男　13,394人　女　14,134人
世帯数　6,276

9月定例議会終わる

稲島林道を新設

看護学生の奨学金アップ

昭和四十七年度九月定例町議会が、九月二十六日から二十八日までの三日間、役場議場で開かれました。

議案審議に先だち一般質問が行なわれ、杉山泰三、長谷川清、伊丹宗平、三島吉郎、田辺文夫、小柳真治の六議員が町の考え方を聞きました。

「新潟地域広域市町村圏協議会の設置について」ほか十八議案、選挙一件、請願三件、議員提出一件が提出され、いずれも原案どおり可決採択されました。

議案のおもなものは次のとおりです。

◆巻町看護学院生徒奨学金貸与条例の一部を改正する条例

看護学院生徒奨学金の貸与額が准看護婦、月額五千円（改正前四千円）、看護婦月額一万五千円（改正前七千円）とそれぞれアップされました。

一般会計千八百万円補正

◆昭和四十七年度巻町一般会計補正予算について

歳入歳出予算の総額にそれぞれ千八百六十三万五千円を追加、総額十億二千九百十二万八千円となりました。

歳入のおもな補正は、地方交付税千五百万千円、県支出金二百三十二万二千円財産収入百万円など。

歳出のおもな補正は、衛生組合負担金五百八十六万六千円、稲島林道新設費千六百五十六万三千円、道路新設改良費八百五十九万五千円など。

新潟広域圏協議会に加入

◆新潟地域広域市町村圏協議会の設置について

町は、新潟市ほか三市、巻町ほか十三町村の十八か市町村で新潟地域広域市町村圏の振興整備に関する総合的な計画を策定、連絡調整を図るため、新潟地域広域市町村圏協議会の設置加入を決めました。

◆巻町農村地域工業導入対策審議会条例の制定について

巻町農村地域工業導入対策審議会の設置を決めました。委員定数は十人。

新選管委員に渡辺、石山の両氏を選出

◆選挙管理委員および補充員の選挙について

任期満了となった選挙管理委員会委員に小林正直さん（再任、十二区）、田辺安吉さん（再任、漆山）、渡辺末吉さん（新任、十三区）、石山友衛さん（新任、仁箇）の四人を選びました。

長年、選挙管理委員として活躍され、今回退任された笠原俊弐さん、有坂善兵衛さんごくろうさまでした。

あたご保育園運動会

ちびっ子、父母の声援背に

スポーツの秋。あたご保育園でも九月二十九日恒例の運動会が開かれました。

園児全員が保育体操で体をならしたあとちびっ子運動会はプログラム順に遊戯や競技が進められました。

みんながこの日のために特訓（？）した遊戯「お花のぼうや」、「かもめの水兵さん」、「波の子ダンス」、「金の星、銀の星」を一生懸命踊ると見物のおとうさんやおかあさんからわが子の成長ぶりに惜しみない拍手が送られました。

（写真は玉入れ競争）

巻・潟東の青年たち

安中市と交歓研修

巻町・潟東村および巻町・潟東村教育委員会は群馬県安中市と共催で青年研修交歓会を十一月十一日から十三日まで行ないます。

この青年研修交歓会は安中市の青年たちの家庭に民泊し、レクリエーションで友情を深めながら研修テーマ「青年の生きがい」について意見交換されることになっています。

なお、十月二十一日に安中市から青年研修生が来町しますので暖かい歓迎をおねがいします。

施設めぐり募集中

十月二十六日の日で見る町政「施設めぐり」の参加者を募集中です。

希望者は至急商工観光課に申し込みを。

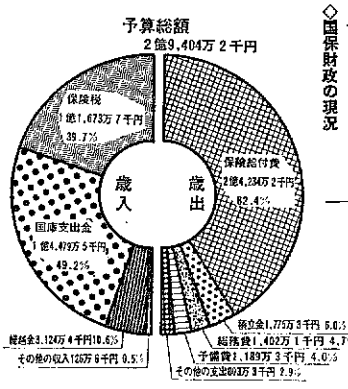
国保の強調月間

伸びる医療費

毎年十月は、被保険者の皆さんに国保制度を深くご理解いただく月間です。

国保の現況をお知らせしあわせて保険税の完納にいっそうのご協力をお願いします。

◇国保財政の現況



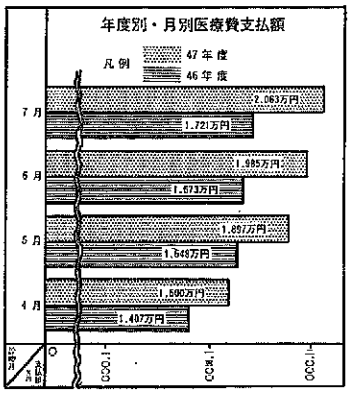
九月末現在の国保予算は円グラフのとおりです。

予算は一年間に必要な医療費、人件費などを推計しそれに見合う収入を見込んでバランスをとっています。収支のバランスがくずれるとどうなるか。

たとえば、医療費が見込みを上回ったとき、または保険税収入を下回ったとき、それは赤字の原因になります。

◇医療費増加のきざし

一時伸びのとまっていた医療費は、二月に医療費改定があったことも影響して最近ふえてきました。来年一月から七十歳以上の老人医療費が無料になりますと受診しやすくなるため、医療費はさらにふえることが予想されます。



◇医療費の見込み

①町で行なう結核、成人病、乳幼児検診は必ず受けてください。早期発見、早期治療が大切です。

②職場の保険に加入したとき、または脱退したときはすぐ保険証をそえて住民課へ届けをしてください。

③保険税は納期までに納めてください。

◇お願い

受診しやすくなるため、医療費はさらにふえることが予想されます。

郡社会福祉大会

22日巻小で

郡社会福祉事務所、巻町社会福祉協議会などの共催で十月二十二日午前九時から町立巻小学校で、昭和四十七年度西蒲原郡社会福祉大会が、郡内の社会福祉関係者を集め開かれます。

同大会は「本郡の社会福祉の諸問題をみつめ、これが進展のためにその対策をどう進めたらよいか」のメインテーマに添って「老人福祉について」、「青少年の福祉について」、「心身障害者（児）の福祉について」、「低所得福祉について」、「町村の社会福祉対策について」の五部会に分かれ、郡民の社会福祉向上のため研究討議します。

時政日記

（9月分）

1日　畑作部会。巻町「新潟米」生産共進会。公衆衛生推進委員会議

4日　消費者懇談会

5日　巻町・潟東村小学校体育祭。鎧潟境界変更特別委員会。民生委員会議

7日　課長会議。衛生組合臨時議会

11日　北陸自動車道特別委員会。行政相談

14日　交通事故相談

18日　巻町交通安全対策会議

19日　海の反省会

20日　融資委員会

21日　病院運営委員会

22日　議会運営委員会。秋の全国交通安全運動街頭指導（10月1日まで）

25日　例月出納検査。交通指導所設置

26日　定例議会（28日まで）。老人クラブ連絡協議会に対する交通安全教室

角海浜区長変わる

十月一日から角海浜の区長が篠原嘉一さんに変わりましたので、お知らせします。前区長の山添幸雄さん長い間どうもごくろうさまでした。

赤ちゃん登場

岡村　学（まなぶ）

☆生年月日　四十六年八月十五日
☆住所　河井
☆両親のなまえ　和彦（父）、幸子（母）
☆続き柄　長男
☆名づけ親　父
☆名まえの由来　おぼえやすく、将来人のうえに立つように
☆愛称　マコちゃん
☆好物　バナナ、ミカン、ブドウ

杉本　陽（めぐみ）

☆生年月日　四十六年五月二十四日
☆住所　五区
☆両親のなまえ　英夫（父）、優子（母）
☆続き柄　長女
☆名づけ親　父
☆名まえの由来　太陽のように明るく、めぐまれるように
☆愛称　メメちゃん、ダダメ
☆好物　キュウリ、エ

係りから　この欄は一歳から二歳までの赤ちゃんを紹介します。希望者は広報係までご連絡ください。

「全国民謡唄まつり」が10月21日午後4時30分から午後5時30分までBSNテレビでカラー放映されます。町民のみなさんごらんください。

教委、交通教室用信号機を購入

巻町・潟東村教育委員会では、児童を交通事故から守るため、このほど交通教室用信号機（付属品として道路標識、指導用黒板）を二組購入し、管内小中学校の交通安全教育に貸し出しを始めました。

利用校のトップを切ったのは漆山小学校。同校はことし県から交通安全優良校に選ばれているだけに交通安全教育に力がはいっています。巻署の警察官から正しい自転車の乗り方横断歩道の渡り方（写真）などの話しを聞いたあと校庭で信号機を使い指導を受けました。

写真ニュース

郡准看学院で晴れの戴帽式

十月五日、西蒲原郡准看護学院で第五期生戴（たい）帽式が行なわれました。

この日戴帽式（写真）を迎えたのはことし四月、同学院に入学した二十六人。入学以来看護婦となるため半年間看護理論など基礎知識を学んできて喜びの戴帽を許されたものです。今後は看護婦の卵として病院で臨床実習にはいります。

筑波剛郎同学院長から「臨床実習にあたっては、患者に対して親切、優しさ、いたわりの気持ちで接し、立派な看護婦になってください」と激励のことばがおくられました。

乳児検診

日程表

乳児検診が次の日程で行なわれます。対象児をお持ちの家庭は忘れずに受けさせてください。

月日	会場	時間	対象地区	対象児
10月19日	松野尾公民館	午後2時～	松野尾、四ツ郷屋地区	1歳未満児
26日	越前小学校	午後1時30分～	越前、角田地区	昭和46年10月～12月生まれの乳児
24日	巻町公民館	午後2時30分～	7区以北	昭和47年2月以降に生まれた乳児
23日	役場分室	午後1時30分～	6区以南	昭和46年10月～12月生まれの乳児
20日	峰岡中学校	午後2時～	峰岡地区	昭和47年2月以降に生まれた乳児
19日	漆山駐在室	午後1時30分～	漆山地区	昭和47年2月以降に生まれた乳児

国民年金で老後の安定

国民年金は、私たちの老後の安定と不時の不幸に備える趣旨から農業、商業等の自営業の人に年金を受ける権利をもっていただくためにできた制度です。

国民年金に加入されていない人は早めに手続きを。また国民年金の加入者で、他の公的年金に加入した場合も手続きが必要です。

なお、くわしいことは役場国民年金係に。

農業の道しるべ

新しい動き

西村欣策

角田地区で、離農を志す人たちが出たということで農協の角田支所で、いち早くその対策のための会議を開き、一日中討議をした。

その中で……

㈠なぜ若い世代が農業をきらうか

㈡農業に魅力をもたせる方法はないか

㈢具体的な方法は何か……

という話し合いをしたが、

①砂丘地農業は、労働過重できらわれる。

これは、自家労働力を完全に消化して、なお不足するということで、農業経営としては、出かせぎに支えられている単作農業の苦しさとは正反対である。

これは、今後の対策をする場合、むしろ恵まれている。「働らく場所のない地帯から見れば、ぜいたくな悩みなのだ」という意見さえ出た。

たしかに、かつての角田地区の状態から考えれば、まさに恵まれた苦しみである。

まず労働の軽減対策を考えるべきだということになった。

②農業に魅力をもたせるには。

後継者育成は、家族ぐるみで、我が家の将来計画をたてることであり、将来少なくとも、十年くらいの長期計画が可能であれば、胸を張って農業に従事し得るのである。

このために、営農指針をかかげて、農協の運営もそれに沿うて活動をすべきだ、ということになった。

そこで、営農の類型を作ることだとした。

③具体的な対策は何か。

農業に対する十か年計画など、ほかではたてにくいけれども、砂丘地の場合、可能性がたくさんある。

これは、関係者がうらやましがりながら話し合って いた。まず、

⑦基盤を整備する。

これはこの地帯の農業発展の必須事項で、労働軽減の最も重要な要素である。

④作物を整備する。これも、営農的に競合を避けて、年間の労働調整を考える。（指針の中で説明）

⑨営農上、所得二百万円の計画をたてる。

快適な生活を確保するは元は、また所得からともいえる。

㊀施設や運営に必要なことは農協で考える。

㊁関係指導機関（本所や役場や県など）と連携して事業を進める。

こうして、新しい営農類型を普及所の経営係と生産係へ依頼した。

援護法緩和さる

支給範囲が拡大

援護法関係

戦傷病者戦没者遺族等援護法が四十七年十月一日から改正されましたので、その要点をお知らせします。

①満州開拓青年義勇隊員の処遇改善

満州開拓青年義勇隊員が軍の命令によって業務に従事した時期を昭和十四年十二月二十二日から昭和十六年十二月七日までの者に対して支給されることになりました。

②準事変地の準軍属に障害年金・遺族給与金等を

日華事変中（昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日まで）本邦樺太、千島列島、朝鮮、台湾で業務に従事した陸・海軍の有給軍属を準軍属として扱い、この者が公務上受傷した場合には障害程度に応じた障害年金を、また受傷が直接の死因であるときはその遺族に遺族給与金・弔慰金等が支給されることになりました。

③満州勤務軍属の在職期間の拡大

昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの間に本邦・樺太・千島列島・朝鮮・満州・台湾などに在隊し、日華事変に関する勤務に関連して傷病にかかり、昭和四十七年十月一日現在の不具廃疾の状態が第五款症以上であるときはその程度に応じ特例障害年金を支給することになりました。

④日華事変間における本邦等勤務の軍人・準軍人の傷病者に対して特例障害年金を支給

昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの者の公務傷病について援護法を適用し、障害年金・遺族年金・弔慰金等が支給されることになりました。

⑤勤務関連死亡の陸・海軍文官の遺族に弔慰金を支給

昭和十二年七月七日以後本邦等に勤務中、事変または戦争に関する勤務に関連した傷病によって死亡した陸・海軍部内の文官について、その死亡が昭和十六年十二月八日以後であるときはその遺族に弔慰金が支給されることになりました。

特別弔慰金支給法関係

特別弔慰金支給法の一部が変わり、支給範囲が拡大されました。

昭和四十七年四月一日までに弔慰金の受給権を取得した遺族で、昭和四十七年四月一日現在公務扶助料・遺族年金等を受給している者がいない場合に弔慰金受給者・戦没者の子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹の順序による先順位者が特別弔慰金（三万円の国債）を受給することができます。

恩給法関係

①昭和二十年八月八日前に外国政府職員等から引き続き公務員として在職していた者も通算。

②在外公社等の職員期間が外国特殊機関の職員とし、その在職期間を公務員の在職年に通算。

くわしいことは厚生課に。

うぶごえ（9月中届出）

なまえ	生年月日	保護者	住所
大橋　泉	8・21	洋　仁	篭
桜田　恵	8・23	隆	堀山団地
山川　高史	8・24	春雄	越前浜
佐藤　真樹	8・26	義雄	漆山
阿部　雄一	8・31	政一	角田浜
印牧　和美	8・31	正	10区
古俣　正浩	9・1	尚志	1区
中野　裕一	9・2	作栄	大原新田
長谷川嘉栄	9・3	一栄	栄町
久保田勝之	9・4	勝久	11区
小島　章史	9・5	薫	福井
渡辺　義則	9・5	洋三	7区
長谷川雄大	9・5	敏雄	11区
大沢　明彦	9・6	行男	竹野町
黒田　篤	9・7	進	7区
松本　誠心	9・8	家舜	福井
岩田　明美	9・8	昭志郎	東町
岩田　友美	9・8	昭志郎	東町
今井　輝美	9・8	孝次	5区
河治　俊行	9・8	久夫	漆山
田辺　伸也	9・9	広栄	漆山
棚辺亜也子	9・10	辰夫	13区
高井美喜子	9・11	慶夫	馬場
小熊　麻子	9・11	和男	福井
館　幸	9・11	要吉	潟頭
赤川　堅	9・12	鉄男	堀山団地
八木原國子	9・12	清一	馬場
田中　和子	9・12	和雄	竹野町
近嵐　理教	9・12	友三郎	2区
永田　裕之	9・13	栄二	8区
安民みゆき	9・13	進	堀山団地
新井　和彦	9・14	一夫	稲島
沢栗　賢一	9・15	浩	葉萱場
中川　弘樹	9・16	元	4区
高杉亜紀子	9・16	恒夫	四ツ郷屋
渡辺　真巳	9・17	充	赤さび
北田三奈子	9・17	泰之	13区
鈴木　康弘	9・23	直樹	10区

おくやみ（9月中届出）

なまえ	年齢	死亡日	住所
石田　慶一	78	9・1	3区
中村　治助	74	9・6	3区
藤田　アキ	43	9・10	3区
今里　一郎	45	9・13	下和納
長谷川トキ	39	9・13	1区
中山　嘉蔵	75	9・14	竹野町
斎藤　イカ	81	9・17	1区
新井　清作	71	9・18	稲島
樋浦　リイ	88	9・24	松野尾
永野　五郎	48	9・24	峰岡
寺沢　キサ	87	9・24	鷲ノ木
田中　ナツ	50	9・24	東6区
竹之内スミエ	48	9・26	13区
山賀　トワ	69	9・27	松野尾
高杉平治郎	78	9・27	四ツ郷屋

お知らせ

町民囲碁大会

町民囲碁大会が十月二十二日巻町公民館で行なわれます。受け付けは午前八時三十分から。参加費一人二百円、団体戦参加の場合は十月十七日までに巻町公民館に。

町民音楽祭の出演者募集中

十一月五日巻小体育館で巻町文化祭行事のひとつとして、音楽愛好者のつどい町民音楽祭が開かれます。一般、学生（個人、グループどちらでもよい）で音楽の種類、楽器、演奏、歌コーラスを問いません。

プログラム作成上、出演希望者は十月二十日までに巻町公民館に申し込んでください。

農家の住宅巡回相談

巻農業改良普及所などでは、昭和四十七年十月二十五日、二十六日の二日間住宅巡回相談所を吉田町農協で開設します。

対象は、将来住宅を改善新築計画をお持ちの農家など。

海上保安学校学生募集

海上保安学校・保安大学校学生を募集しています。

受付期間は、昭和四十七年十一月二日まで。

くわしいことは新潟市万代二丁目第九管区海上保安本部（電話新潟四四—四一五一に。）

10月の健康相談室

内容	期日	時間	会場	担当
成人の健康相談（血圧、検尿、その他）	10月19日	午後1時～午後3時	役場分室	内科医師
乳幼児健康相談（保育全般、その他）	10月27日	午後1時～午後3時	役場分室	小児科医師
一般健康相談（健康に関する悩みその他妊娠届出、母子手帳交付、妊娠指導）	月～金	午前9時～午後5時	健康相談室	
	土曜	午前中	健康相談室	

社会保険の街頭指導　巻信用組合前で10月22日午前10時30分から午後2時30分まで